

## 第21回ICSSC・アワードランチョンにおいて

### 第2回AIAA衛星通信フォーラム功績賞授賞式を開催

平成15年4月17日(木)にICSSCアワードランチョンがパシフィコ横浜会議センター501、502号室で開催され、第2回AIAA衛星通信フォーラム功績賞が吉田倬也氏(JSAT株式会社CEO)、植田剛夫氏(三菱電機株式会社顧問)の両名に授与されました。約200名が収容可能な同会場は、第21回 ICSSCの出席者、AIAA TTCメンバー、AIAA衛星通信フォーラム関係者でほぼ満席の状況となり、品位ある格調の高い授賞式が盛大に執り行われました。

まず、授賞式開始にあたり、AIAA衛星通信フォーラム・アワード委員長の篠永英之氏(KDDI研究所執行役員)からAIAA衛星通信フォーラムの設立経緯、AIAA衛星通信フォーラム功績賞の目的について説明がなされました。ICSSCは1966年以来、北米において隔年ごとに開催されてきましたが、初めて北米大陸以外の開催地として日本が選ばれ、1998年にパシフィコ横浜において第17回ISCCSが開催されました。なお、同会合では、AIAA衛星通信フォーラム功績賞の前身にあたるAIAA Japan Aerospace Communications Awardが降旗健人氏(当時IDC社長)に授与されました。その会合が成功裏に終了したことを受け、更に衛星通信分野における日本およびアジアにおけるアクティビティを高めることを目的として、AIAA ICSSCの支部活動を行うAIAA衛星通信フォーラムが同年設立されました。

AIAAは、衛星通信に関わる多大な功績を上げられた方に対し、AIAA Aerospace Communications Awardを隔年ごとに授与しています。これと主旨を同じくする賞として、AIAA衛星通信フォーラムでは、特に日本国内・アジア地域において衛星通信に関わる目覚ましい業績を上げられた方を対象とし、AIAAが認める正式なアワードとしてAIAA衛星通信フォーラム功績賞を授与しています。第1回AIAA衛星通信フォーラム功績賞は、2001年に北爪 進氏(現ジェピコ取締役)が受賞されました。なお、突然のハプニングとなりましたが、当日の受賞式では、第1回AIAA衛星通信フォーラム功績賞の楯が、同フォーラム副会長の飯田尚志氏(CRL理事長)から北爪氏に授与されました。

引き続き、AIAA衛星通信フォーラム会長の谷口一郎氏(三菱電機会長)から、第2回AIAA衛星通信フォーラム功績賞の受賞理由として、吉田氏、植田氏が日本国内およびアジア地域における商用衛星の立ち上げ・発展に多大な功績を残されたことの説明がなされ、記念の賞状と楯が授与されました。また、吉田氏、植田氏のお二方から、通信衛星を用いた商用サービス実現までの苦労や関係者への感謝の気持ち、衛星通信の未来が明るいことなど、本功績賞受賞にあたってのスピーチをいただき、会場の参加者から大きな拍手が送られ、授賞式は成功裏に終わりました。



授賞式会場の様子



受賞者を囲んで(左から飯田副会長、植田氏、谷口会長、吉田氏、ヘルム教授)